



# 士別ロータリークラブ

創立 1960・3・24 RI第2500地区

Vol. 14 No. 2690

2019-2020年度国際ロータリーテーマ



2019-2020年度 国際ロータリー  
会長 マーク・ダニエル・マローニー

RI HP <https://www.rotary.org/ja>  
2500地区ホームページアドレス <http://rid2500.jp/>

2019-2020年度士別ロータリースローガン  
**地域に根ざそう奉仕の力で**



士別河川防災ステーション (天塩川河川敷)  
2005年会報から 画: 百瀬達夫元会員

- 例会場 / 士別グランドホテル
- 例会日 / 毎週月曜日 12:10~13:10
- 事務所 / 士別グランドホテル TEL 0165-23-1234
- 会長 / 近井孝義 ■ 副会長 / 谷 温恵
- 幹事 / 但木行久

士別ロータリークラブ HP <http://www.douhoku.jp/sibeturc/>

## 今日のプログラム

第2774回例会 2019年11月11日(月) 普通例会

### 前回(10月21日)の記録 ・ 普通例会

- ・ 司 会 伊藤優市 会場監督
- ・ 齊 唱 それでこそロータリー
- ・ 本日の出席 会員47人 出席率100%
- ・ 本日の欠席

・ メークアッス

- ・ ビジター
- ・ ゲスト
- ・ ニコニコBOX

累計 150,000円

### 例会予定

#### ■ 11月例会【ロータリー財団月間】

- 11月4日(月) 休会 (法定休日: 文化の日)
- 11月11日(月) 例会・
- 11月18日(月) 例会
- 11月25日(月) 夜間例会

#### ■ 12月例会【家族月間】

- 12月2日(月) 例会・年次総会・理事会
- 12月9日(月) 夜間例会・ファミリーパーティー
- 12月16日(月) 例会
- 12月23日(月) 例会
- 12月30日(月) 特別休会

## ■ 会務報告

近井孝義会長

■ 26日遠軽ロータリークラブ60周年記念式典に参加してきました。参加登録人数約185人第2分区からは、美深・名寄・士別の参加でした。

■ 式典は、あっさりしたもので点鐘から点鐘まで約30分クラブ紹介などかなりはしょった感じでした。記念事業として今年12月に遠軽まで開通する高規格道に隣接するスキー場ロッジ・道の駅が一緒になった「道の駅 遠軽 森のオホーツク」に80インチのタッチパネル式総合案内看板を寄贈しておりました。この道の駅は、ゲレンデと遠軽とオホーツクの魅力を発信する道の駅のコンセプトで地域の個性を演出する施設造りをしているそうです。

■ 記念公演は、平昌冬季オリンピック銅メダリストの本橋麻里さんで「ゼロから1をつくる。故郷から世界へ」の演題で約70分の公演でした、なかなか可愛い顔している割に性格がキツく負けず嫌いな猪突猛進と言う感じの公演でした。

■ その後約40分の空き時間の後、祝賀会が開演でした。会場の関係で準備に時間がかかったみたいですね。

■ 祝賀会は、やはりおもてなしがメインでした。2次会が設定されていて2次会会場までのタクシーもクラブで負担していただきました。

■ 名寄の60周年・遠軽の60周年など各クラブの周年を参考に士別の周年を成功させたいものです。

## ■ 幹事報告

但木行久幹事

1) 11月4日は、文化の日の振替休日で、休会となっておりますのでお間違えのないようお願い致します。

2) 地区ガバナー事務所より、2019年1月R I 理事会決定により、ロータリアンの行動規範に5番目の項目が追加されたとの案内がありましたので、お知らせいたします。

### 【ロータリアンの行動規範】

1 個人として、また事業において、高い倫理基準をもって行動する。

2 取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって行動する。

3 自分の職業スキルを活かして、若い人々を導き、特別なニーズを抱える人々を助け、地域社会や、世界中の人々の生活の質を高める。

4 ロータリーや他のロータリアンの評判を落とすような行動は避ける。

5 ロータリーの会合、行事、行動において、ハラスメントのない環境を維持する事を支援し、ハラスメントの疑いがあれば、報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないように確認する。

以上となっておりますが、最新のロータリー章典では、すでに変更が反映されているとの事です。

ので、各自、ご確認願います。

## ■ 委員会報告

● 菊地 仁財団・米山奨学委員会委員長＝来年5月末の当会創立60周年記念事業の一つであります、100%ポール・ハリス・フェロのクラブの認証につきましてですが、先づはその手順を説明しますと、前提条件として全会員が財団に対し100ドル以上の寄付者として国際ロータリー日本事務局へ送金と申請が完了し、日本事務局で管理されているクラブのデータベース上にもそれぞれが反映されました後に、所定の申請書に当会会長と地区ガバナーそれぞれの署名を頂き、署名後は申請書を再び日本事務局へ送り、そこで日本事務局に認可を頂ければ、そこでようやくすべての手続き完了となりますので申請自体に期間がかかります。

そこで誠に勝手ではありますが、会員1ヶ月ワンコイン年額5500円と結婚記念他を祝うニヤニヤBOX 2000円併せて7500円を11月11日までに財団米山奨学委員会の私菊地まで各例会開始前にお納めいただきます様お願いを申し上げます。

お陰を持ちまして100%PHFクラブの認証まであと一歩というところまでできております。どうぞスムーズな手続きの為にも皆様のご理解とご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

## ■ その他の報告

● 谷 温恵副会長（リソースとサポート委員会委員）＝国際ロータリークラブ第2500地区のリソースとサポート委員会からです。私のところにメールでいろいろな文書が送られてきます。

今年度初の海外奉仕事業ということで、旭川西ロータリークラブ様より、クラブ国際奉仕事業の旅費申請書が出まして、承認可否の問い合わせが私のところにきました。その後、旅費の支援送金金控えがきちんときました。みなさんに報告いたします。内容は旭川西ロータリークラブとフケット（タイ）の友好関係にある南ロータリークラブの国際奉仕事業ということで、今回初めて上がってきたそうです。

昨年からの継続事業として、今年度も国際奉仕共同事業を通してより強い国際的な絆と結びつきを深めるとのことでした。タイの子どもたちに勉学に必要な教材備品などを寄付することにより、充実した教育を受けられるように奉仕することが事業目的だそうです。

学校のシステムはよくわからなかったのですが、場所はタイのフケット近郊地区の幼児、小学校の6校に寄付すると書いてありました。開催日時は2019年10月29日から11月2日までの間で、事業実施日は10月31日です。参加人数は8名ということです。

今年度初ということですが、今後も事業が出てくれば、みなさんにまたお知らせしたいと思えます。